

田原市での「地域活力創出事業」第2回の活動を11月10日（日）に実施。
地元の「第7回 道の駅めつくん 子ども凧まつり」に、サポートスタッフとして参加しました。



田原市に根付く伝統文化「田原凧」の体験と普及アイデアの提案

2024年度は、田原凧を体験し、その普及のアイデア提案を行っていただきました。

第2回となる今回は、地域の伝統文化の担い手不足解消につなげる活動の一端として、11月10日（日）に田原市の「道の駅 田原めつくんはうす」にて開催された、「**第7回 道の駅めつくん 子ども凧まつり**」にサポートスタッフとして参加。「田原凧保存会」の方から第一回活動で教えていただいた、凧づくり・凧揚げの知識を活かして、子どもたちの凧づくりと凧あげのお手伝いと、お祭りの運営サポートを行いました。



前半は、凧づくりのサポート。主に地域に住む子どもたちを対象に、凧の色付けをサポートしました。前回は予定人数を超えるほど人気だった凧づくり。今回も開始時間になると、多くの子どもが家族連れで訪れました。中には毎年のように凧づくりをしている子どもも。むしろコツを聞くこともあり、笑いながらのコミュニケーションが生まれていました。

凧揚げの練習サポートから、審査委員にも抜擢！

後半になると、「あいちの助っ人 地域活力づくり隊」のメンバーには、凧揚げのサポートにまわってもらいます。田原凧は、一人では揚げられず、凧を持って補助する役割の人が必要となります。第1回の活動で凧を揚げるコツを聞いていたメンバーは、凧揚げを積極的に補助。子どもたちは、何度もチャレンジしながら上達していきますが、「あいちの助っ人 地域活力づくり隊」のメンバーは、そのためにも欠かせない存在として活動してくれました。また、落ちた凧を走って拾い、すぐに凧を揚げる準備をすることで、子どもたちは飽きずに何度も凧揚げにチャレンジすることができました。



子どもを中心としたイベントではあるものの、子どもだけでなく大人たちも自ら凧を操って楽しむ様子が見られました。また、アメリカから凧を見に訪れた一行も凧揚げに参加。国際交流も生まれました。

「あいちの助っ人 地域活力づくり隊」の田原市担当メンバーは、子どもの凧あげをチェックして入賞者を選ぶ、審査委員としても活動するなど、田原凧保存会の方との良い関係を構築できたようです。

前回に続き、二回の活動を終えたメンバーたち。すでに「来年の活動にも参加してほしい」というお話をいただき、田原凧保存会の方々のお役に立てていることに喜びを感じつつ、二回の活動が終了しました。今回の活動を経て「また田原に来たい」という思いを持ったメンバーたち。田原凧保存会の方との交流を深め、今後の活動参加にも前向き気持ちになったようです。